

リゾートホテルにおける 省エネの実現

- ・ 省エネ推進の魅力
- ・ ザ・ブセナテラスの取組について





省エネ推進の魅力

- エネルギー合理化の推進の目的
 - ⇒ 社会的貢献 (SDGs 7  14 )
 - ⇒ 環境維持・改善 (自然との調和)
 - ⇒ 会社の経営合理化 (必要な分だけのエネルギー供給)
- エネルギー合理化の推進の進め方
 - ⇒ 使用者の意識改革 (ムダを無くす)
 - ⇒ よりクリーンなエネルギーを選ぶ (調達先変更など)
 - ⇒ 省エネ機器の導入 (高効率機器導入)
 - ⇒ エネルギーの見える化 (どのくらい必要か見極める)
 - ⇒ 会社の組織づくり (経営を巻き込む)
 - ⇒ 管理基準の策定、運用 (現場への落とし込み)

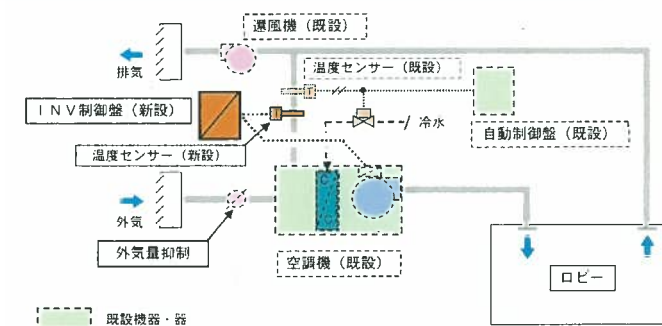


ザ・ブセナテラスの取組の状況

省エネ機器の導入（高効率機器導入）

- ①動力ポンプ・F A Nのインバーター化
ろ過ポンプ・空調F A Nなどの必要な分だけ稼働させる。
- ②個別空調機の高効率化
更新時期により効率のよい機器へ更新
- ③24時間点灯照明の省電力化（L E D化）
省エネ効果検証が確実な機器を優先して更新。
- ④コージェネ設備の最適運用
熱・補給水などの見える化により、より効率よい運転方法を模索。
- ⑤国・県のエネルギー補助事業に参加
自社の資金に上乗せし、より最新機器の導入を図る事で、
更なる削減実現

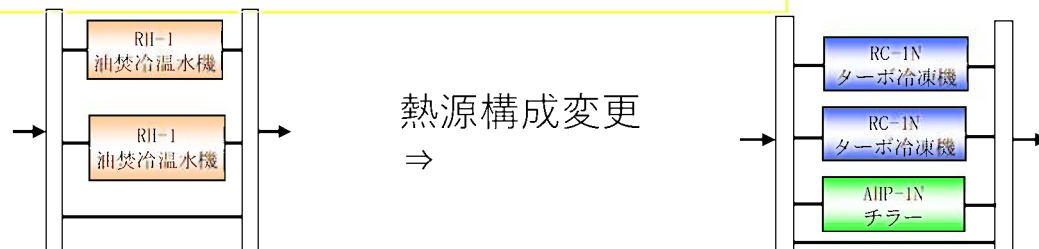
空調F A N動力インバーター化自主事業



動力ポンプのサイズ最適化+ I N V化自主事業



高効率の空調用熱源機器導入による省エネルギー事業

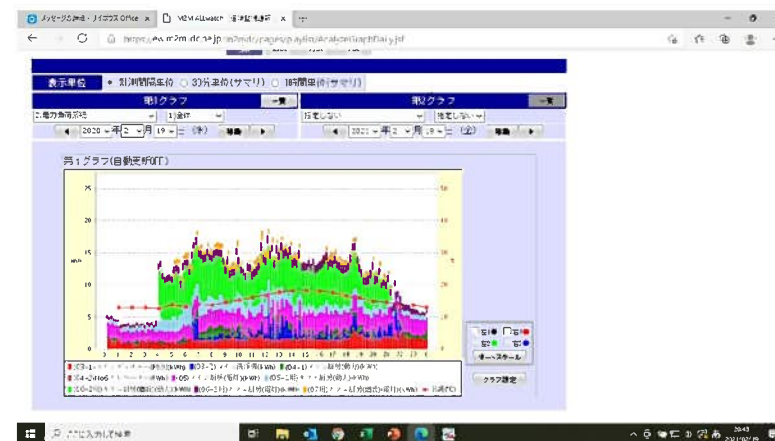


結果原油換算量
年間360 k L削減

(経済産業省 H25年エネルギー合理化事業者支援補助事業)

エネルギーの見える化（どのくらい必要か見極める）

- ① 日常の検針確実に実施し蓄積
エネルギー管理のみならず衛生管理を実現
- ② 中央監視を屈指し、データの自動保存
安定したデータを元に、機器の正常運用を実現
- ③ 蓄積データを元に、新たな省エネ提案
空調機・温水ヒーターなど機器構成や必要な能力選定
- ④ 機器導入後の効果検証
効果を確定する事で、次の導入へつなげる



ザ・ナハテラス 創蓄電システム



会社の組織づくり（経営を巻き込む）

①必要なデータの開示・報告

事業所内の会議、支配人会議でエネルギー使用量・料報告

②事業所内でのエネルギー委員会活動

施設管理以外のチームを巻き込んだ活動でより細部まで

③機器導入への関心を持ってもらう

経営陣へも効果を報告し、積極的な設備導入へ理解を得る

④エネルギー定期報告を確実に

各事業所のエネルギーも見る事で、比較・情報共有実施

⑤エネルギー管理士・委員の育成を目標とする

専門知識を持った社員を育成し、確実な管理を実施

1997年「自然との調和、自然への回帰」をコンセプトに開業

ザ・ブセナテラス LCC対応（ライフサイクルコスト）

自然エネルギー活用／建物外皮の熱遮断

1. 自然風の利用
2. 直射日光の防御
3. 断熱 屋根を赤瓦葺き。
4. 自然光の利用
5. 雨水の利用 地面の仕上げを極力芝生や植栽にし浸透させている
6. 滝、池、プール等の採用 外気のクールダウン効果になっている。
7. 植栽

